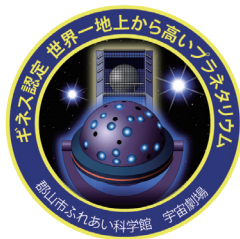


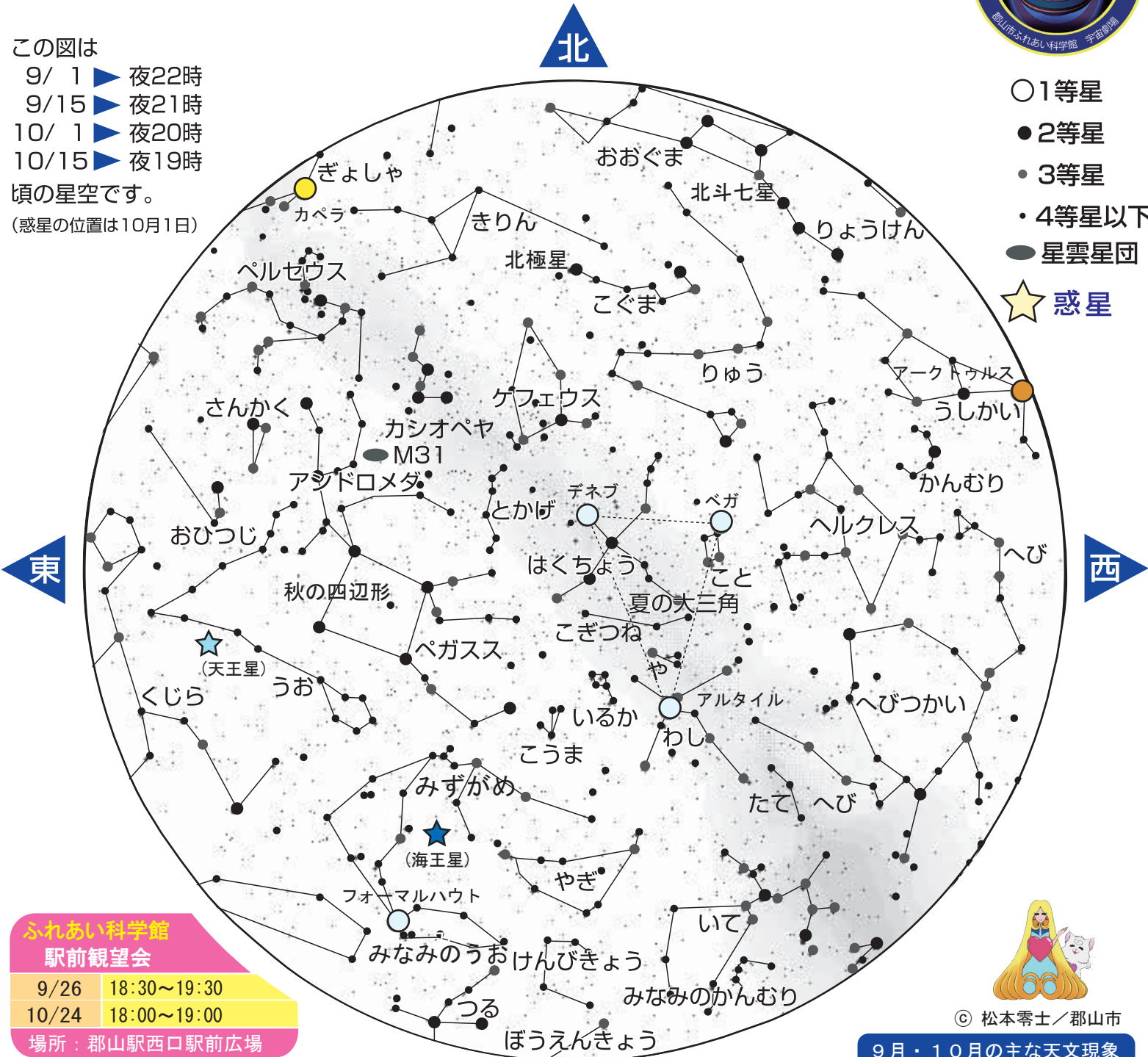
2015年

9月▶10月の星空



この図は
 9/ 1 ▶ 夜22時
 9/15 ▶ 夜21時
 10/ 1 ▶ 夜20時
 10/15 ▶ 夜19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は10月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★惑星



ふれあい科学館
駅前観望会

9/26 18:30~19:30
 10/24 18:00~19:00

場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士/郡山市

9月・10月の主な天文現象

9/23	秋分の日
9/27	中秋の名月
10/22	オリオン座流星群
10/25	十三夜(後の月)

郡山の日の出・日の入			月の満ち欠け	
9/ 1	5:12	18:10	新月	9/13, 10/12
9/15	5:22	17:50	上弦	9/21, 10/21
10/ 1	5:35	17:27	満月	9/28, 10/27
10/15	5:46	17:07	下弦	9/ 5, 10/ 5

※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星、海王星は肉眼では見えません。

夏が終わり、少しずつ秋の気配が近づいてまいりました。暑い日が少なくなり、空気も澄んでくるため、星空観察がしやすくなります。日本ではこの時季にお月見をする風習があり、いにしえより月を眺めていました。9月27日の中秋の名月は十五夜とも呼ばれていて、今年は満月の1日前の月となっています。翌日の満月は通常よりも大きな満月となる、いわゆるスーパームーンです。写真を撮影して他の満月と比べてみると、大きさの違いがよくわかります。中秋の名月と合わせて、月の形や見える場所が日ごとに変化するようすなどもぜひ観察してみてください。

月の光に遠慮しているのか、秋の星座たちは少し控えめに輝いています。西の空にはまだ夏の夏の大三角が見えますが、その他に見える1等星は、みなみのうお座の「フォーマルハウト」だけです。少し物足りなく感じてしまうかもしれませんが、夏の大三角の東側には4つの2等星でできた「秋の四辺形」があり、「フォーマルハウト」などの秋の星探しの目印となります。そのすぐそばにはアンドロメダ座やペルセウス座など、古代エチオピア王家の人物たちが勢揃いしています。神話の本も合わせて読んでみると、ギリシャ神話の舞台になったような星空をいっそう楽しめます。

